

平成27年(2015年)8月

第64号



もいまち

議会だより



写真/「入れるぞ〜!」〜森幼稚園 森小でプール遊び〜

《主な内容》

天森橋の長寿命化対策へ 他

2

一般質問

東京オリンピック 森町も参加を 他

5~7

発行 静岡県森町議会

命化対策へ

町内の^{きょうりょう}橋梁を点検

森町議会は、6月定例会を12日から23日までの会期12日間で開催しました。条例改正や補正予算など、提案された13議案について審議し、組合議会議員の補欠選挙を行いました。

また、東京五輪の合宿誘致、自転車運転マナーの向上、高齢者世帯の見守り体制、学校図書館の充実と読書環境整備、アクティ森への遊具設置、森町人口ビジョンと森町まち・ひと・しごと創生総合戦略などについて、6人が一般質問をしました。

(5P~7Pに掲載)

6月定例会

補正予算

一般会計	追加	5965万円
総額		74億7929万4千円

【主な内容】

老朽化した天森橋の長寿命化工事費用として1595万円

防災・安全交付金の内示による、町の橋の点検費用として579万円

旧赤根町営住宅跡地の処分が生じた土地の売却代金の一部を、企業立地推進基金への積み立てとして430万円



天森橋

自治総合センター・コミュニティ助成金により、葛布町内会の太鼓等の新調費として250万円

不妊に悩む夫婦に対し、男性不妊治療に要する費用の一部を助成する経費として21万円

旧中央体育館跡地およびテニスコートの、土壌改良対策に係る費用の一部を負担する経費として2000万円

城下町営住宅を2棟一緒に取り壊すため、追加1棟分の費用として260万円

自主防災組織に配備している可搬ポンプの更新費用として226万8千円
新総合体育館の準備(トレーニング室の管理、パンフレット等作成、旧体育館備品の搬入等)の費用として255万5千円

討 論

一般会計補正予算

【賛成討論】

町営住宅の撤去や可搬ポンプの更新など、地域の要望に応え、住民の意見にも配慮が見られる。

(伊藤議員)



完成近づく 新総合体育館 (7月撮影)

天森橋の長寿

防災・安全交付金を活用

条例

森町社会体育施設の設置、管理及び使用料に関する条例の一部を改正する条例

〔一部改正〕

10月オープン予定の総合体育館について、使用料などを定めました。

森町介護保険条例の一部を改正する条例

〔一部改正〕

低所得者の保険料軽減のための改正を行いました。

森町小規模保育所の設置及び管理に関する条例

〔制定〕

人事

森町固定資産評価審査委員会委員

安西功氏あんざいこうの選任及び佐野房代氏さのむさよの再任に同意しました。

組合議会構成

各組合議会の補欠選挙を行い、次のような構成となりました。

袋井市森町広域行政組合議会

・ 榊原淑友 小沢一男 小澤哲夫

東遠学園組合議会

・ 西田彰

中遠広域事務組合議会

・ 太田康雄 伊藤和子

養護老人ホームとよおか管理組合議会

・ 中根幸男

太田川原野谷川治水水防組合議会

・ 片岡健 鈴木托治

中東遠看護専門学校組合議会

・ 亀澤進 吉筋恵治

追加議案

全日程終了後、追加の議案として、「建設工事請負契約の締結について」及び「公の施設の指定管理者の指定について(森町小規模保育所)」の2議案について審議し、全員の賛成により可決しました。



保健福祉センター 2F 小規模保育施設 (9月開設)

6月定例会の審議結果

議案名			結果	備考	議案名			結果	備考
人事	森町監査委員の選任	同意	全員賛成	補正予算	平成27年度森町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員賛成		
	森町固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	全員賛成		平成27年度森町水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	全員賛成		
	森町固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	全員賛成		建設工事請負契約の締結	原案可決	全員賛成		
条例	森町小規模保育所の設置及び管理に関する条例	原案可決	全員賛成	一般議案	静岡県市町村総合事務組合規約の変更	原案可決	全員賛成		
	森町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		建設工事請負契約の締結	原案可決	全員賛成		
	森町社会体育施設の設置、管理及び使用料に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		公の施設の指定管理者の指定(森町小規模保育所)	原案可決	全員賛成		
補正予算	平成27年度森町一般会計補正予算(第2号)	原案可決	全員賛成	投票	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	投票			

0〜2歳児の 小規模保育始まる

5月臨時会

5月臨時会を5月11日に開催し、専決処分報告承認と、補正予算について審議しました。いずれも全員の賛成で原案どおり可決しました。

また、議長・副議長の辞職にともない議長・副議長の選挙、議会運営委員・常任委員の選任を行いました。

補正予算

一般会計 追加 464万4千円
総額 74億1964万4千円

9月開設の小規模保育施設について、関係機関等の意見を元に、以下のような工事の変更を行いました。
沐浴室を保育室に隣接させ、専用のトイレを設けました。
また、手洗い場、ロッカー等を設置し、園児の衛生面及び安全面等に配慮しました。

平成27年5月～ 議会構成

◎は委員長 ○は副委員長

議長	榊原淑友			
副議長	山本俊康			
議会運営委員会	◎太田康雄	第一常任委員会	◎亀澤 進	◎小澤哲夫
	○山本俊康 片岡 健 亀澤 進 小澤哲夫		○吉筋恵治 小沢一男 榊原淑友 鈴木托治 中根幸男	○伊藤和子 片岡 健 山本俊康 太田康雄 西田 彰
			第二常任委員会	

袋井市森町議会議員研修会 いま、私たちに求められること

森町文化会館 小ホール

袋井市と森町の全議員を対象にした研修会が、7月30日に森町文化会館小ホールにて開催されました。

研修内容は、『地方創生という政策と地方議会の役割』というテーマに求められることと題して、読売新聞編集委員の青山彰久氏の講演でした。

最初に、地方議会は立法機関であるが、その前に政治的争点や各種情報を公開する場であること、住民感覚・感性や専門知識を持って行政とは違う視点で地域を統合していくこと、首長や行政を監視する役目がある等話がありました。

地方創生については、国からの押し付けではなく住民参加の議論をしていくこと、大都市にはない地域の魅力を前面に出していくことが重要であるということでした。

そして、住み心地のよい地域をつくること、それは子どもを

産みやすく育てやすい、人のつながりを大切にする、歴史を大切にし町並みや景観が美しいことなどと熱く語られました。

町がなすべきこと、当たり前前のごことを充実していくということのだが、「足元を見れば泉が湧く」と、改めて感じ入る研修となりました。





TOKYO ● 2020



2020年東京五輪 ロゴマーク

町長 大会組織委員会が示すキャンプ会場の条件は、国際競技連盟の技術要件を備えるものとされている。その他、宿泊施設と練習会場は30分以内とが、言語や食事面の対応、ドーピング検査への配慮など、誘致を行う自治体が責任と費用負担を負うことになる。

問 5年後に開催の東京オリンピック・パラリンピックの各国チームの事前合宿地の誘致活動が始まっている。県指定の事前キャンプ候補地に、森町の新総合体育館も入っている。既に28市町が名乗りを上げており、森町も誘致に向け検討会を立ち上げるべきと思うが、町長の考えを伺う。



吉 筋 恵 治

東京オリンピック

森町も参加を

そのため、中間報告において森町は、事前合宿誘致は希望しないと回答した。誘致に向けた検討会については、現段階では考えていない。

問 県は合宿誘致に国際基準を満たす必要はないと言っている。サッカーW杯の事前合宿に、大分県の中津江村(人口1300人)がカメルーンチームを誘致し、その後村の活性化に役立てた実例がある。森町にとって有意義なチャレンジになると考えるが、町長の考えは。

町長 現段階での誘致は考えていない。

町政を問う ～一般質問～



小 沢 一 男

総合戦略に

子ども達の声を

問 地方創生「森町総合戦略」が政府から義務づけられた。5～10年後の中核は、今の中学生である。世代を超え、子ども達を対象に「どんな森町にしたいか」の意見・提言を聞くことは貴重な機会であると思うが、取り入れる考えはあるか。

町長 今年は合併60周年の記念の年であり、その一環として森町内の小学生を対象に「これからの森町」「こんな森町ってイイな!」をテーマに作文コンクールを実施しており、これを通じて、子ども達から提言を頂き、総合戦略策定の参考とする。

自転車マナーの向上を

問 改正道路交通法の施行で、自転車運転中に危険なルール違反を繰り返すと、14歳以上を対象に「自転車運転者講習」の受講が義務化された。町全体で自転車運転マナーの見直しをする考えは。

町長 交通安全協会森地区支部と連携して、効果的なチラシを作成し、町内全戸へ配布する。また、広報紙でも取り上げ、町民への周知を図る。



作成した啓発チラシ

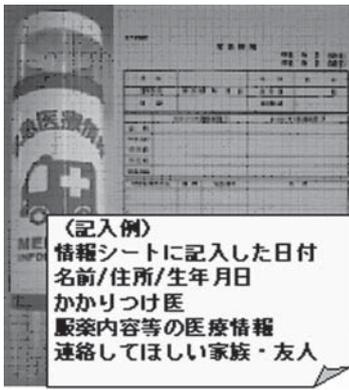
その他の質問
・救急医療情報カード(シート)の導入について



伊藤 和子

救急医療情報キットの 無料配布を

問 高齢者世帯の緊急時の対策として、救急隊等が本人の医療情報を早急に確認できる「救急医療情報キット」の無料配布を提案する。
 離れて暮らす家族の不安の軽減、災害時・緊急時の迅速な応急処置や救急搬送につながる。町長の考えを伺う。



救急医療情報キット (見本)

町長 民生委員の協力により秋に実施している「避難行動要支援者名簿」の整備更新とあわせて実施していくことが有効である。
 民生委員の同意を得られれば、救急医療情報の提供手段や対象者の選定等協議をしながら導入していきたいと考えている。

**空き家の有効活用
移住・定住に支援を**

問 有効活用できる空き家に対して、新しい発想で有効利用していたくための支援、新たな起業を促すなど、地域活性化を同時に進めていくことが効果的と考える。
移住・定住を推進する観点から、今後どのような対策を構築していくのか伺う。

町長 有効活用できる空き家が少ない現状ではあるが、今後空き家の発生状況を勘案しながら、空き家バンク、あるいは有効活用できるシステムを検討していくことも一つの視点であると思っている。

※住宅・土地統計調査(平成25年総務省調べ)によると、森町の空き家の総数は620戸と推計されている。

町政を問う ～一般質問～



山本 俊康

学校の図書環境を問う

問 国の進める「読書活動の推進」について問う。

教育長 国では「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、司書教諭養成講座の開設や、学校図書館の蔵書充実のため、交付税措置等がなされている。

町では、「森町子ども読書活動推進計画」を策定し、家庭、地域、幼稚園、学校、図書館等が相互に連携・協力し取り組んでいる。

本年度は、学校図書館アドバイザーを設け、図書活動の充実を図っている。

問 標準図書数の達成率は。

教育長 小学校では宮園小、中学校では泉陽中が未達成で、達成するよう取り組む。

問 図書環境充実のため、本の一括更新、年次購入の増加計画は。

教育長 一括更新は多額の予算を要するため、予算を確保する中で定期的に購入したい。

児童・生徒にとって魅力ある書籍の配備や、授業内容に沿った学習教材が備わった学校図書館にするべく、年次購入も計画的に行う。

※標準図書数(学校図書館図書標準) 文科省が定めた、公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準数



学校での朝読書(旭が丘中学校)



一宮最終処分場併設のテニスコート



西田 彰

アクテイ森に 遊具の設置を

問 森町には名所・旧跡が数々あるが、子ども目線で楽しめる遊具のある場所が少ないと考える。「体験の里アクテイ森」も例外ではない。幅広い人たちに楽しんでもらい、施設の存続を図るため、大型・小型の遊具を設置する考えはあるか。

町長 アクテイ森はオープン24周年を迎えた。当初から見ると苦戦を強いられているのが現状で、誘客を含め様々な検討をしている。

提案の遊具の設置を含め、幅広い年齢層に楽しんでいただけるよう、検討していきたいと考えている。

小國神社沿道に

トイレの設置を

問 一宮最終処分場に併設されたテニスコートは、トイレのないことが悩みとなっている。

企業・団体に呼びかけ、命名権(ネーミングライツ)を付与し、トイレの管理をしてもらうのはどうか。

町長 公衆トイレは不特定多数の人が利用するため維持管理が難しく、地元でも結論が出ていないと聞く。命名権による維持管理については、地元で話がまとまれば、一つの管理方法として参考としたい。

※命名権(ネーミングライツ) 企業の社名や商品ブランド名を、公共施設等の名称に付与する権利

町政を問う ～一般質問～



太田 康雄

人口ビジョン・総合戦略の 目標設定は

問 「森町人口ビジョン」と「森町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口増加あるいは維持を目標とするか、ある程度の人口減少は避けられないとして、縮小社会への賢明な対応を目標とするか。

町長 策定を開始したところなので具体的な数字を出すことはできないが、基本的な姿勢は楽観的にならず、かつ悲観的にもならずというスタンスを維持したい。

出生率等の自然増減と移住希望などに基づく移動率等の社会増減を加味しての人口の将来展望なので、前向きな視点で目標人口を設定していきたい。

今後、総合戦略の施策の実施による出生率向上や移住・定住施策、特に若者の転入者を増やすこと等の効果を踏まえ、現時点では次期総合計画の最終年度となる2025年(平成37年)を目安に、**現在より微減程度**となるようにできればと考えている。

問 総合戦略策定には、議会にも積極的な関与を求められている。議会との協議の時期、持ち方は。

町長 7月から10月までに3回程度実施したい。

地方創生に関する具体的な説明をし、意見を聞く場を設定したいと思っ
ているので、議員の活発な意見を期待したい。

	H24年度	H25年度	H26年度
自然動態	△103	△ 96	△110
社会動態	△112	△100	△ 75
合計	△215	△196	△185

森町の過去3年間の人口動態(住民基本台帳より)

自然動態:出生・死亡に伴う人口の動き
社会動態:転入・転出に伴う人口の動き

議会報告会

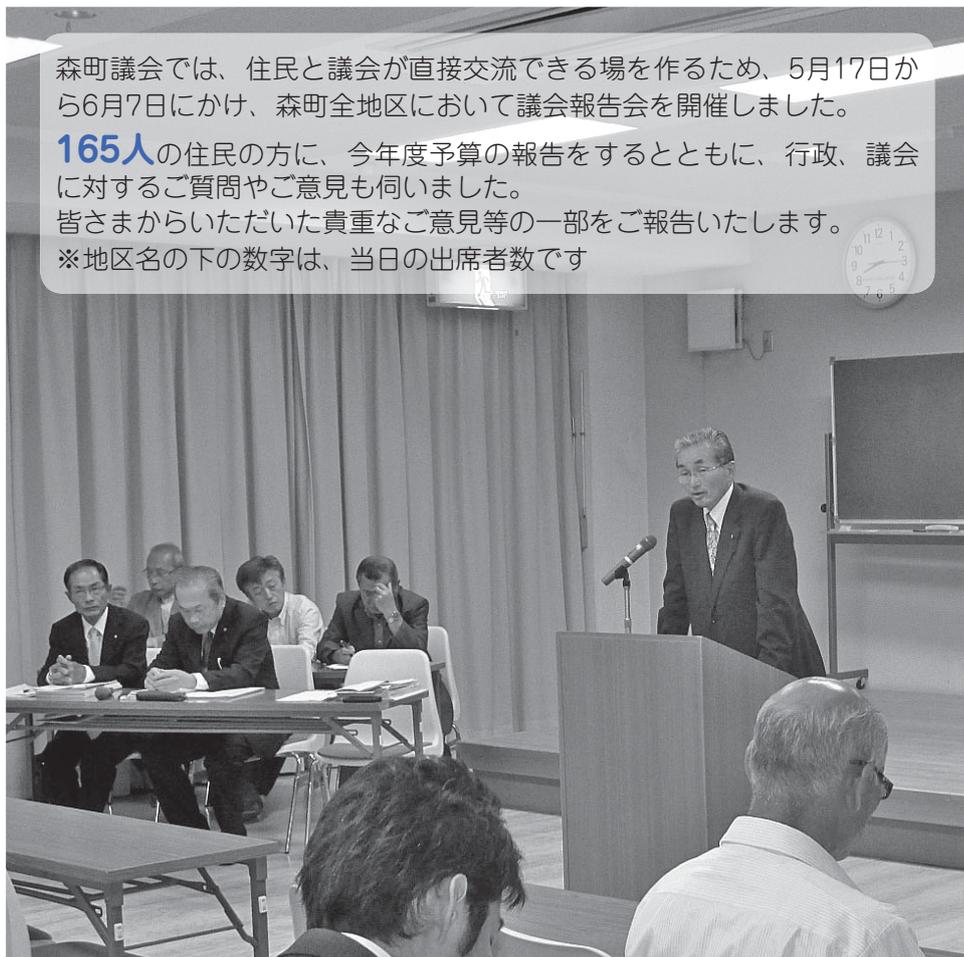
意見・質問を頂きました

森町議会では、住民と議会が直接交流できる場を作るため、5月17日から6月7日にかけて、森町全地区において議会報告会を開催しました。

165人の住民の方に、今年度予算の報告をするとともに、行政、議会に対するご質問やご意見も伺いました。

皆さまからいただいた貴重なご意見等の一部をご報告いたします。

※地区名の下の数値は、当日の出席者数です



園田地区 (18人)

・ 田田駅隣の空き地の有効利用を
考えてもらいたい。

・ 太田川右岸側の農業用水を防火
目的も含め非常用として活用でき
るよう、議会が政策提案したらど
うか。

・ 人口減少対策に中核都市構想が
良いと聞いているが、森町として
はどのように考えていくのか。

・ 公民館の活用促進や避難所機能
の充実を図るために、Wi-Fi(ワ
イファイ)環境を整備してもらい
たい。

三倉地区 (23人)

・ 三倉幼稚園の全園児が1名とな
ったことは、地域の問題として考
えなくてははいけない。

教育機関を無くしてしまうと限
界集落になる可能性がある。

・ 小学校区の統合は、三倉地区全
体と行政が時間をかけて話し合う
ことが大事だと思う。

三倉小に転入してよかったとい
う声や、三倉小から立派な子ども
が育っているということも理解し
てほしい。

まずは、空き家に若い人を呼び
込むことが先決だと思う。





天方地区 (49人)

- ・天方生活改善センターを立て替えて、安心安全に使用できるようにしてもらいたい。
- ・遠州の小京都を進めていくというのだが、既に町並みや蔵は面影をなくしてきている。補助金等で維持していく考えはないのか。
- ・新東名開通によって、経済効果や町への収入がどのくらい増えたのか。
- また、町として、お客さんに対するイベントなどの計画はあるのか。
- ・人口減少対策について、議会はどのように対応していくのか。

飯田地区 (18人)

- ・高齢者や障害者に対しての通院等への補助は、森町はあるのか。
- ・森町には同報無線という素晴らしい伝達媒体がある。台風や災害時に、町の対応を随時伝えてほしい。
- ・治郎柿原木の一木系の看板が読めない状態であるので、早急に修理をお願いしたい。
- ・内陸のフロンティアを拓く「組」について、具体的にどのようなことが行われているのかわからない。



森地区 (18人)

- ・難聴者が補聴器を購入する際の補助を考えてほしい。
- ・自主運行バスの改善を期待する。
- ・浜岡原発の再稼働の賛否について、町民も含めもっと意見を交わして、真剣に考えることが必要ではないか。
- ・町民生活センターの予約の確認や予約方法について検討してほしい。
- ・川原町・下宿の一次避難所である、太田川堰堤下の護岸整備をお願いしたい。



一宮地区 (39人)

- ・地方総合戦略や内陸フロンティア、森町総合計画など類似するものが重なってきている。
- 「私たちが住んでいるところは将来どうなる。」という思いが描けるような計画づくりをお願いしたい。
- ・「はんさやま農村公園(一宮幼稚園西)」計画について、地元住民との協議・説明はあるのか。
- ・少子化対策のひとつとして、町の中の公園に目玉となる遊具の設置を検討してもらいたい。

この報告会は、4回目の実施となりました。多くのご来場誠にありがとうございました。ありがとうございました。

昨年に引き続き、皆さまのご意見を基に森町の課題について議論し、具体的な検討をしております。

今後、皆さまから頂いたご意見・ご質問に対し、報告をさせていただきます。

みんなのこえ

花のあるまちづくり



あすなる会は、平成10年に結成し、活動を続けて参りました。

現在、会員数は13名で、森町病院玄関前の花壇の管理を行っています。

あすなる会では、四季折々の花が花壇を飾り、一年を通して病院を利用される患者さま、ご家族さま、また病院職員さん達の心が和むように、土作りから花の育成まで心を込めて行っています。



あすなる会

花を育てるといふことは、天候の影響も大きく、日々の水やりなど苦勞もありませんが、病院を訪れた方々の「きれいですね」という言葉が、何よりも大きな励みになっています。

活動に興味のある方は、是非一緒に参加していただければうれしく思います。

役員 友田 佐代子
 入手 きよ子

議会を聴きにきませんか

前回の議会では、のべ16人の方が、議会へ足を運んでくださいました。

めんどろな手続きは必要ありません。

是非、お越してください。

- 定員数28名
- お問い合わせ先…議会事務局
電話 0538-85-6329

<9月定例会の予定>

- 9月 7日(月) 本会議 初日
- 9月11日(金) 本会議 2日目
- 9月15日(火) 常任委員会
- 9月25日(金) 本会議 最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。
 ※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

あの 一般質問

どうなっただいやあ～

【平成26年9月定例会】

Q 森町は可燃ごみ収集が週2回と1回の町内会がある。
 ごみは生活に必ずついて回る問題であり、不公平があってはならない。
 改善策について伺う。

A 可燃ごみ収集運搬業務は、平成27年度から、これまで週1回だった町内会も週2回の収集となりました。

ひとこと

鍛冶島の本村から門田に抜ける沢沿いに、県内でも有数と言われる「半夏生」の群生地があります。

木々の間から初めて見る半夏生に、日本の原風景を見る思いがし、ある種の感動を覚えました。

半夏生は、別名「片白草」とも言われます。曆の上では夏至から11日目(今年7月2日)を半夏生といい、この頃に花を開き、葉が白くなることから半夏生と呼ばれているようです。

また、茎の先端の葉が数枚、一部分だけ白く変わることから、「半化粧」とする説もあります。

地元の方もその保護に力を入れているようです。

森町の観光名所の一つになればと期待をしております。

Y・なかね

議会だより編集委員会

- | | |
|------|------|
| 議長 | 神原淑友 |
| 委員長 | 山本俊康 |
| 副委員長 | 中根幸男 |
| 委員 | 吉筋恵治 |
| 委員 | 小澤哲夫 |
| 委員 | 伊藤和子 |

もりまち議会だより第64号 平成27年(2015年)8月15日発行

発行 静岡県森町議会 編集 議会だより編集委員会

T437-0293 静岡県周智郡森町森2101-1 TEL 0538-85-6329 FAX 0538-85-6044 http://www.town.morimachi.shizuoka.jp/ E-mail: gikai@town.morimachi.shizuoka.jp